



実用新案登録願

昭和 55 年 3 月 19 日 審有

特許庁長官 川 原 龍 雄 殿

1. 考案の名称 保正装置

2. 考案者

住所(居所) 実用新案登録出願人と同じ
氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 千葉県流山市三輪野山 905番地
住所 小 島 誠 次
氏名
(国籍)

4. 代理人

郵便番号 111
住所 東京都台東区寿4丁目9番10号
氏名 (6089) 弁理士 杉 山 泰 三



137612

55 036514

明 細 書

考案の名称 係止装置

実用新案登録請求の範囲

一対の基板の内面に等間隔平行配置に対応して脱着自在に相互に係止する多数の筋条雌部と筋条雄部とを一体に設け、これ等基板を同雌雄両部を含む状態で小さく切離して使用自在として成る係止装置。

考案の詳細な説明

本考案は適宜に小さく切離しこれ等を例えば風呂敷の隅角部に取付けて同風呂敷の包着の用に供したり、袋、籠等の蓋および同本体の同蓋に対応する箇所または開口縁に取付けて当該蓋

(1)

137612

の係止また開口の閉止の用等に供したりする新規の係止装置に関するものであつて、一对の基板の内面に等間隔平行配置に対応して脱着自在に相互に係止する多数の筋条雌部と筋条雄部を一体に設け、これ等基板を同雌雄両部を含む状態で小さく切離して使用自在としたことを要旨とするものである。

尚、図示せる実施例は軟質合成樹脂材料製の板状を呈する一对の基板(1)(1)'の内面に於て等間隔平行数列配置で対応する箇所相互に脱着自在に係止する多数の筋条雌部(2)・・・と筋条雄部(2)'・・・を一体に設け、これ等基板(1)(1)'を複数段の雌雄両部(2)(2)'を含む所要の形状に小さく切断すると共にこれ等切断した基板(3)(3)'(4)(4)'を風呂敷敷(5)に於ける対角配置の隅角部を

(2)

らびに砲本体(4)の前面版と蓋体(4')の先端縁部との相互に対応する個所に取付けたものである。

本考案は叙上の如く一对の基板の内面に等間隔平行配置に対応して脱着自在に相互に係止する多数の筋条雌部と筋条雄部を一体に設け、これ等基板を同雌雄両部を含む状態で小さく切離して使用自在として成るので、これを適宜のサイズに切つて例えば袋、砲等の蓋および同本体の同蓋に対応する個所または開口縁に取付けて当該蓋に係止また開口の閉止の用等に供したりすることができて着しく利便であるのみならず複数段の雌雄両部を含む状態で切断して使用すれば風呂敷への包装物または砲本体への收容物の多寡に応じて雌雄両部の係合位置を変更しても風呂敷の包着、蓋体の係止を確実に為すこと

ができる等の実用的効果を有するものである。

図面の簡単な説明

図は本考案係止装置の実施例を示すものであつて、第1図は一部分を示す斜視図、第2図は第1図A—A線に沿う断面図、第3図は使用の状態を示す斜視図、第4図は別異の使用の状態を示す斜視図である。

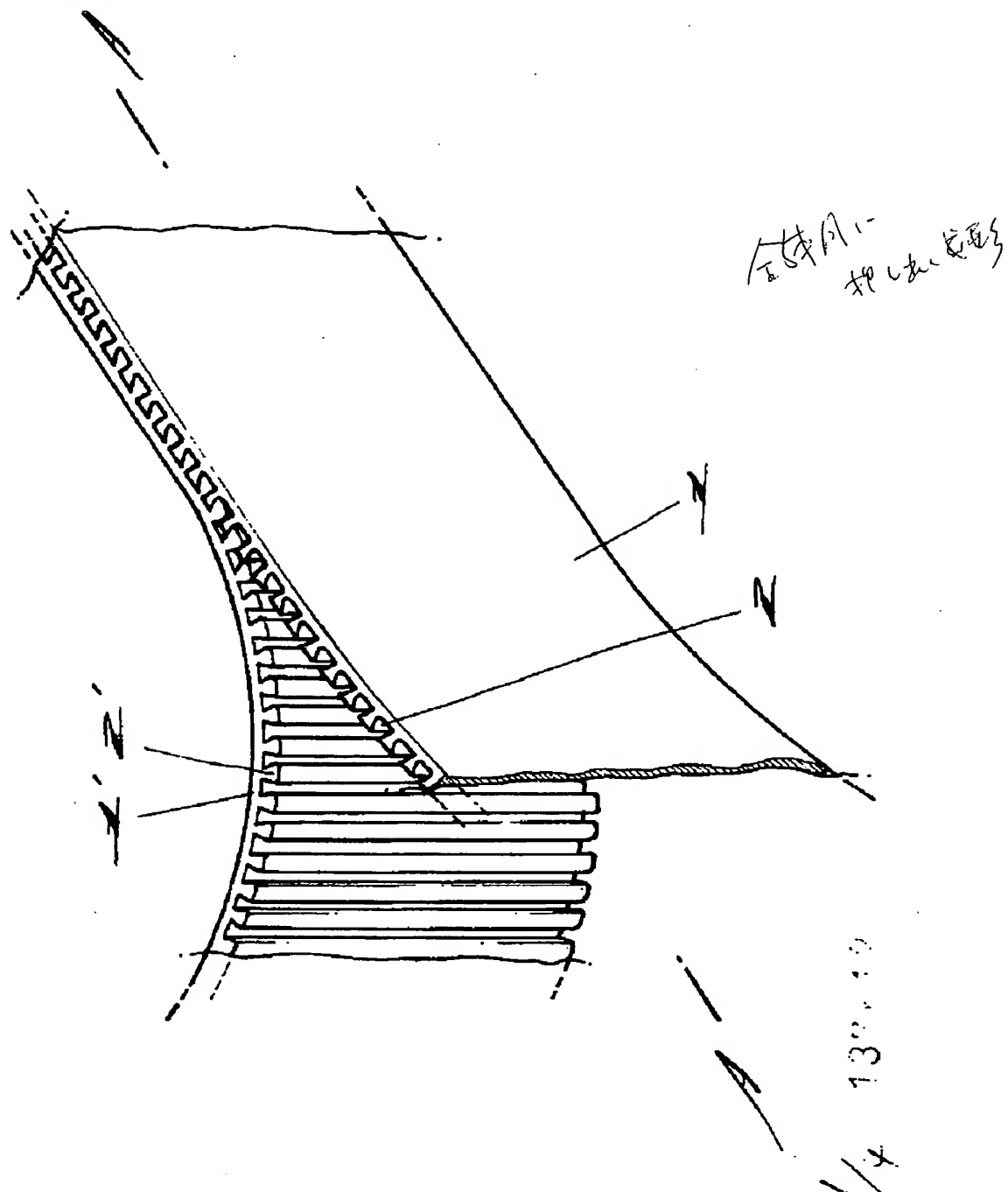
(1)(1)' ... 基板、(2) ... 筋条雄部、(2)' ... 筋条雄部、(3)(3)' (4)(4)' ... 切離した基板、(1) ... 風呂敷、(4) ... 砲本体、(4)' ... 蓋体。

実用新案登録出願人 小 島 誠 次

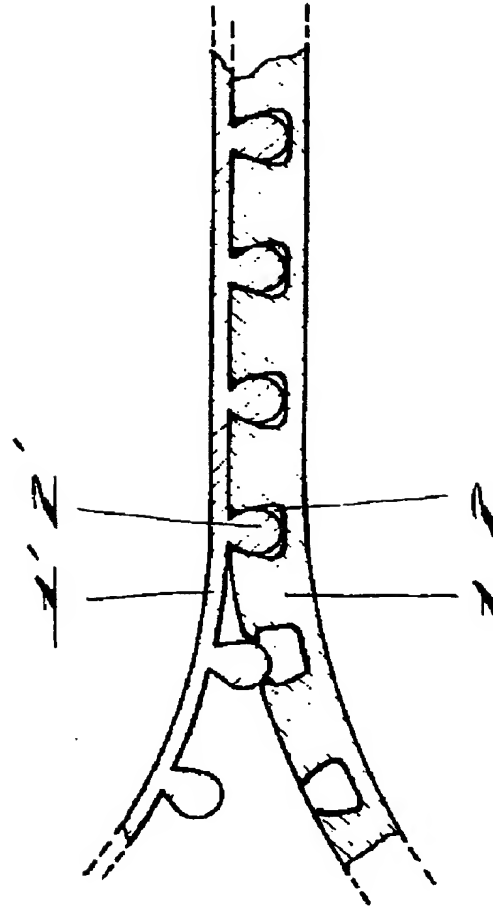
代理人 弁理士 杉 山 泰 三

(4)

图 1 第

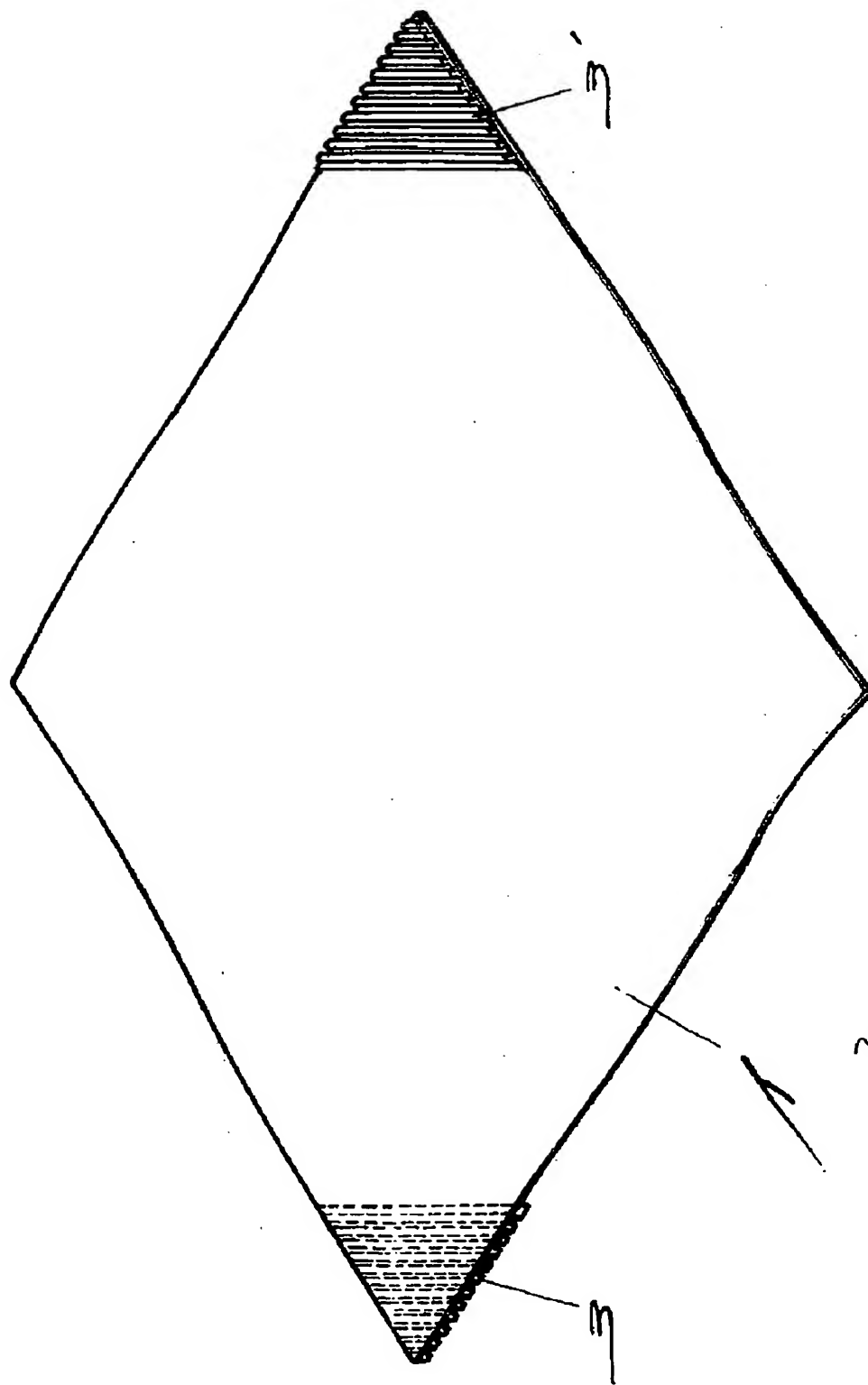


第2図



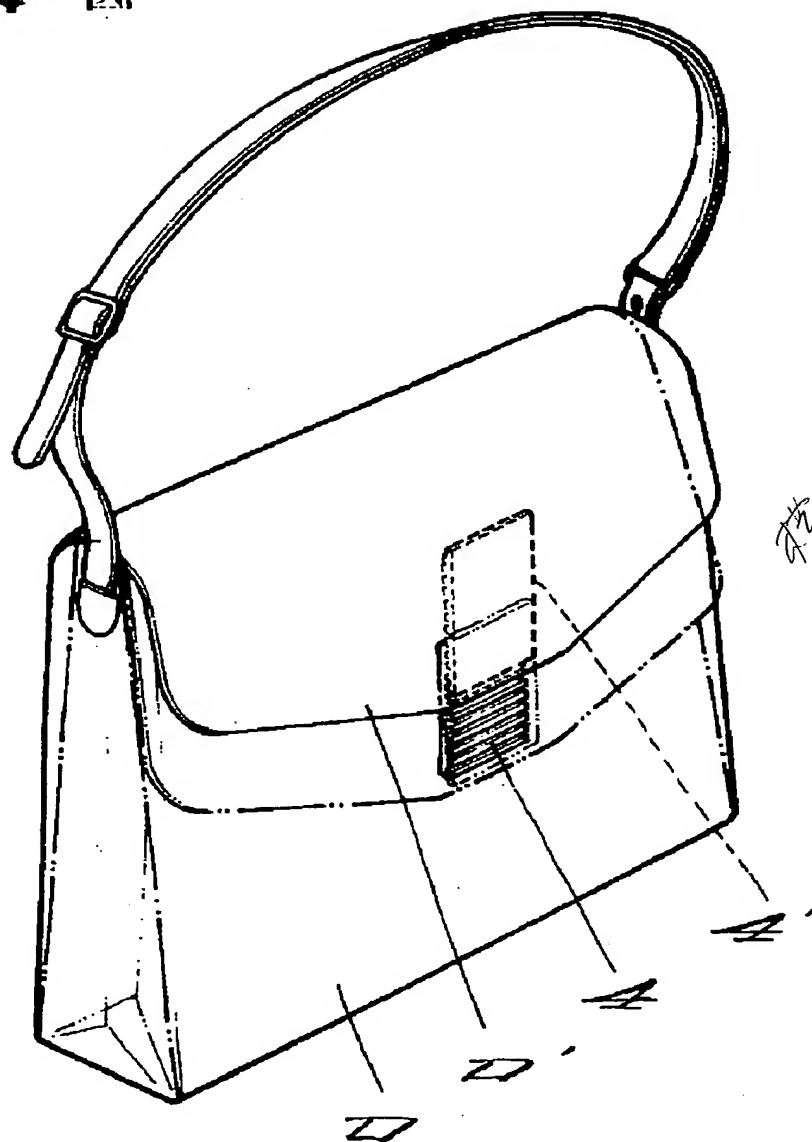
2/4 137612

第 3 图



3/4

第 4 図



4/4 137612

5. 添付書類の目録

✓(1) 明 細 書	1 通
✓(2) 図 面	1 通
✓(3) 願 書 副 本	1 通
✓(4) 出願審査請求書	1 通
✓(5) 委 任 状	1 通

137612